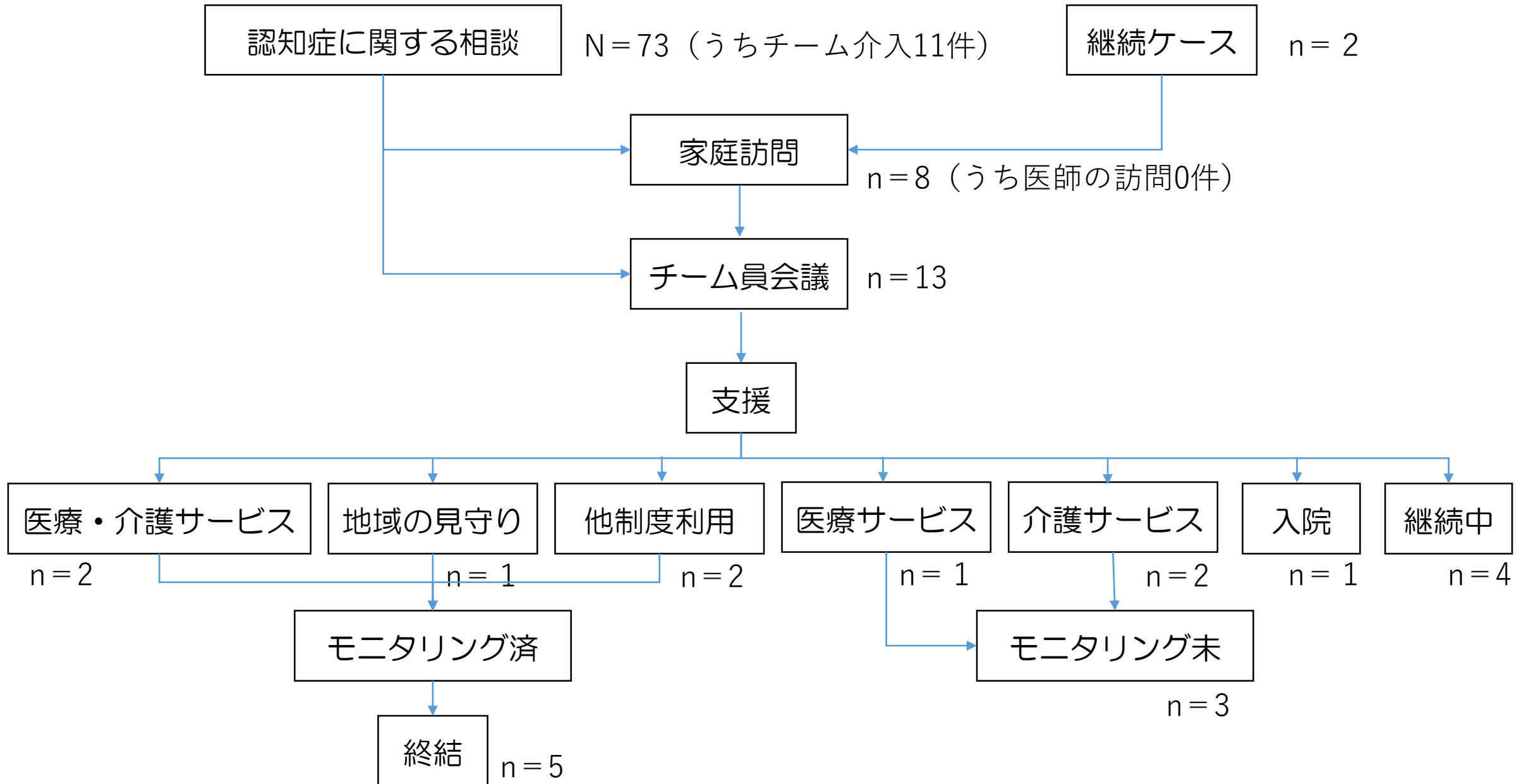


チームの活動評価について

認知症初期集中支援チームR3年4月～9月



活動評価指標 No.1

事例の評価		改善	維持	悪化	判断内容
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	○			定期受診、服薬開始
	介護保険サービスの継続利用	○			訪問介護、デイ利用開始
	危険回避行動につながった	○			医療・介護サービスを利用することにより、在宅生活を継続することができた。
	その他				
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD			○	認知症の進行により介護への抵抗や妄想等がみられるようになった。
	気分の安定(不安感の軽減等)			○	認知症の進行により落ち着かないことがおおくなる
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)	○			介護サービスを利用し清潔保持、食生活の改善が図られた
	DBD-13				初回のみ実施：17点/52点
	その他(チームとの信頼関係ができた等)				
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化		○		特に変化なし
	地域との交流		○		
	社会資源の活用		○		
	その他(就労等)				
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	○			医師やケアマネ等から本人の状態を知ることができた
	本人の意思確認の実行	○			本人の状態を知った上で声掛けを行うようにしている
	個人の自由な時間の獲得	○			介護サービスを利用することで獲得できた
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)	○			認知症の進行により徘徊等がみられるが、ケアマネ等の関りにより家族の負担は軽減している
	相談者の獲得	○			ケアマネや介護事業者等とつながることができた
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)	○			介護保険制度を知ることができた
	その他				

事例の評価		改善	維持	悪化	判断内容
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	○			他疾患で医療にかかっていたが、働きかけにより認知症についても診てもらうことができた
	介護保険サービスの継続利用				他市のサ高住に入居したため評価困難
	危険回避行動につながった	○			サ高住に入居し安全な生活を送ることが可能になった
	その他	○			経済状況を確認し生活保護受給につながった
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	○			介護職員が常に側にいるため安心感につながった
	気分の安定(不安感の軽減等)	○			
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)		○		特に変化なし
	DBD-13				実施困難
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	○			相談先が明確になった
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化				サ高住に入居したため評価困難
	地域との交流				
	社会資源の活用				
	その他(就労等)				
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感、職場の同僚・上司の負担感)	適切な関わり方の獲得	○			職場の同僚、上司が仕事や在宅生活継続に向けたサポートをすることができた
	本人の意思確認の実行	○			本人の状態に合わせた対応を行った
	個人の自由な時間の獲得				独居で家族のつながりがほとんどなく、職場の同僚・上司がサポートを行っていたため、評価困難
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)				
	相談者の獲得	○			チームや包括とつながることができた
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)	○			チームや包括、生活保護受給についての制度を知ることができた
	その他				

活動評価指標 No.3

事例の評価		改善	維持	悪化	判断内容
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)				短期記憶の低下が認められるも、本人は日常生活に不便を感じていないため、医療や介護サービスの利用にはつながらず評価困難
	介護保険サービスの継続利用				
	危険回避行動につながった				
	その他	○			友人から包括を紹介され、相談に行きつなげることができた(何かの際には声をかけてほしい)
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD		○		日ごろから友人つきあいがあり、困ったことがあれば相談できる関係性が築けている
	気分の安定(不安感の軽減等)		○		
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)		○		
	DBD-13				実施困難
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	○			以前より自治会長や民生委員、友人とつながっていたが、包括ともつながることができた
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化		○		特に変化なし
	地域との交流		○		
	社会資源の活用		○		
	その他(就労等)				
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得				別居で、本人とは頻りに電話で話をしているが、子と支援者はつながっていないため評価困難
	本人の意思確認の実行				
	個人の自由な時間の獲得				
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)				
	相談者の獲得				
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)				
	その他				

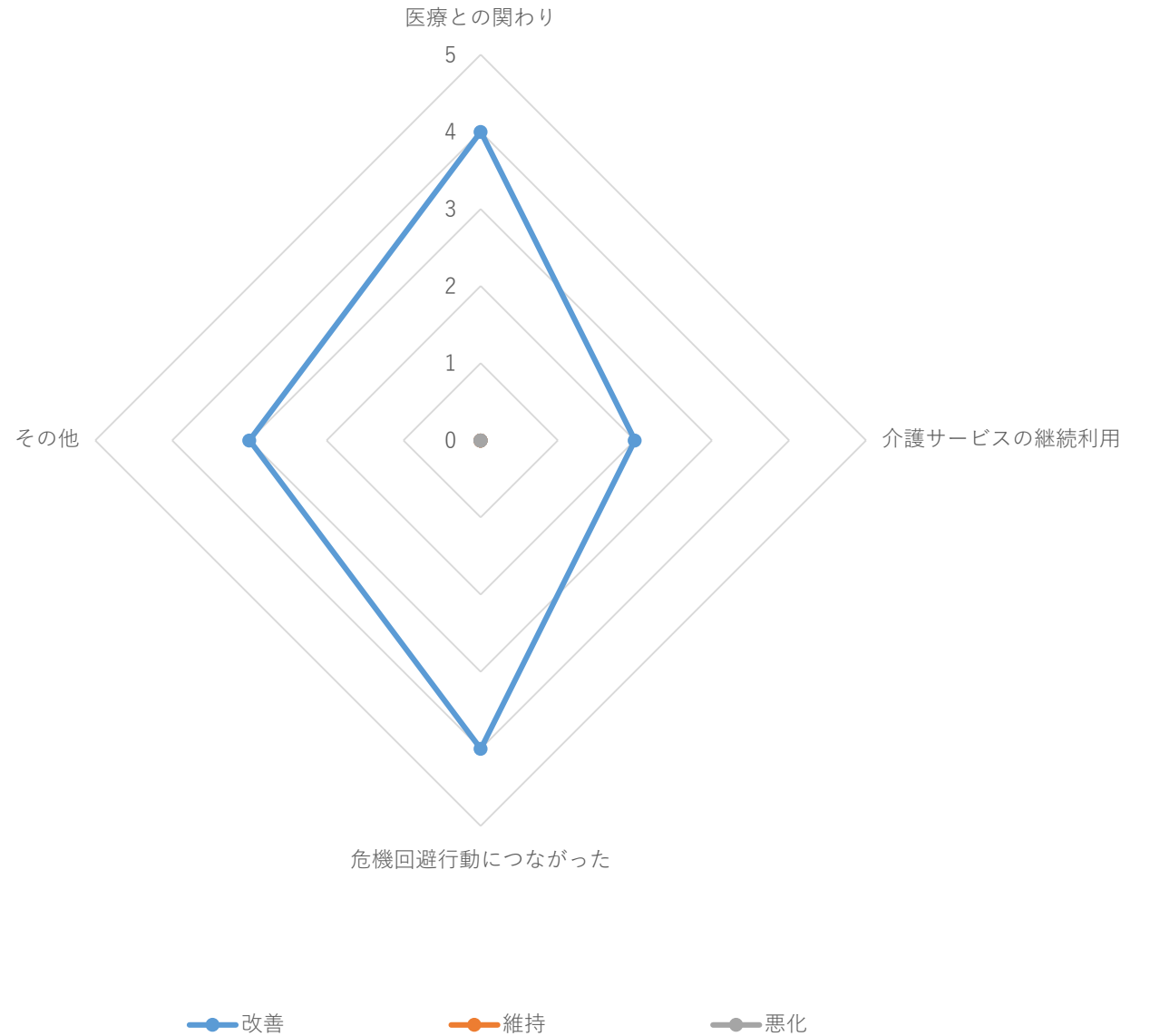
活動評価指標 No. 4

事例の評価		改善	維持	悪化	判断内容
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	○			受診から診断につながった
	介護保険サービスの継続利用				施設入所になったため利用していない
	危険回避行動につながった	○			施設入所になり安全な生活を送ることが可能になった
	その他	○			経済状況を確認し、生活保護受給につながった 金銭管理を他者が行うことで、飲酒量を制限することにつながった
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD		○		特に変化なし
	気分の安定(不安感の軽減等)		○		
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)		○		
	DBD-13				実施困難
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	○			相談先が明確になった
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化				施設入所になったため評価困難
	地域との交流				
	社会資源の活用				
	その他(就労等)				
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得				独居で、他の家族とのつながりなし
	本人の意思確認の実行				
	個人の自由な時間の獲得				
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)				
	相談者の獲得				
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)				
	その他				

事例の評価		改善	維持	悪化	判断内容
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	○			定期受診、服薬開始
	介護保険サービスの継続利用	○			訪問看護を利用することになった
	危険回避行動につながった	○			服薬を開始し血圧コントロールにつながった
	その他				
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	○			紛失の訴えがみられなくなった
	気分の安定(不安感の軽減等)	○			「歩けない」「食欲がない」等の訴えがあったが、活動性が向上することで、改善されている
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)	○			自宅は物があふれていたが、片付けができるようになった
	DBD-13				実施困難
その他(チームとの信頼関係ができた等)	○			友人だけの関わりであったが、包括からケアマネや訪問看護のスタッフ、姪等の関わり等、広がった	
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化		○		特に変化なし
	地域との交流		○		
	社会資源の活用		○		
	その他(就労等)				
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	○			包括やケアマネから、本人の状態を知ることができた
	本人の意思確認の実行				姪が遠方のため、緊急時の連絡先のみ担うことから評価困難
	個人の自由な時間の獲得				
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)				
	相談者の獲得	○			包括やケアマネとつながることができた
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)	○			介護保険制度を知ることができた
その他					

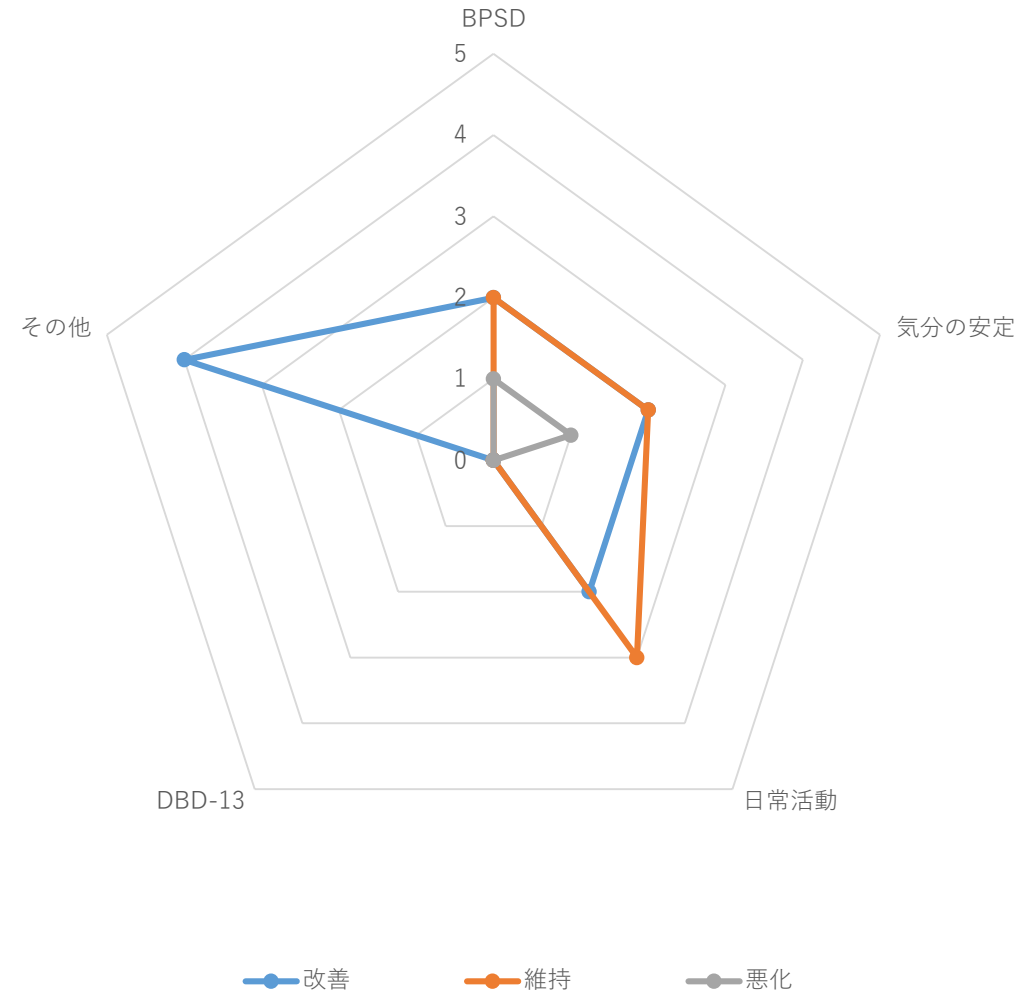
事例の評価		改善	維持	悪化
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	4	0	0
	介護保険サービスの継続利用	2	0	0
	危険回避行動につながった	4	0	0
	その他	3	0	0
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	2	2	1
	気分の安定(不安感の軽減等)	2	2	1
	日常活動(意欲低下により出来なかったこと ができるようになった、活動量の変化等)	2	3	0
	DBD-13	0	0	0
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	4	0	0
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化	0	3	0
	地域との交流	0	3	0
	社会資源の活用	0	3	0
	その他(就労等)	0	0	0
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	3	0	0
	本人の意思確認の実行	2	0	0
	個人の自由な時間の獲得	1	0	0
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)	1	0	0
	相談者の獲得	3	0	0
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスに よる理解等)	3	0	0
	その他	0	0	0

①本人の行動変容



事例の評価		改善	維持	悪化
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	4	0	0
	介護保険サービスの継続利用	2	0	0
	危険回避行動につながった	4	0	0
	その他	3	0	0
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	2	2	1
	気分の安定(不安感の軽減等)	2	2	1
	日常活動(意欲低下により出来なかったこと ができるようになった、活動量の変化等)	2	3	0
	DBD-13	0	0	0
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	4	0	0
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化	0	3	0
	地域との交流	0	3	0
	社会資源の活用	0	3	0
	その他(就労等)	0	0	0
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	3	0	0
	本人の意思確認の実行	2	0	0
	個人の自由な時間の獲得	1	0	0
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)	1	0	0
	相談者の獲得	3	0	0
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスに よる理解等)	3	0	0
	その他	0	0	0

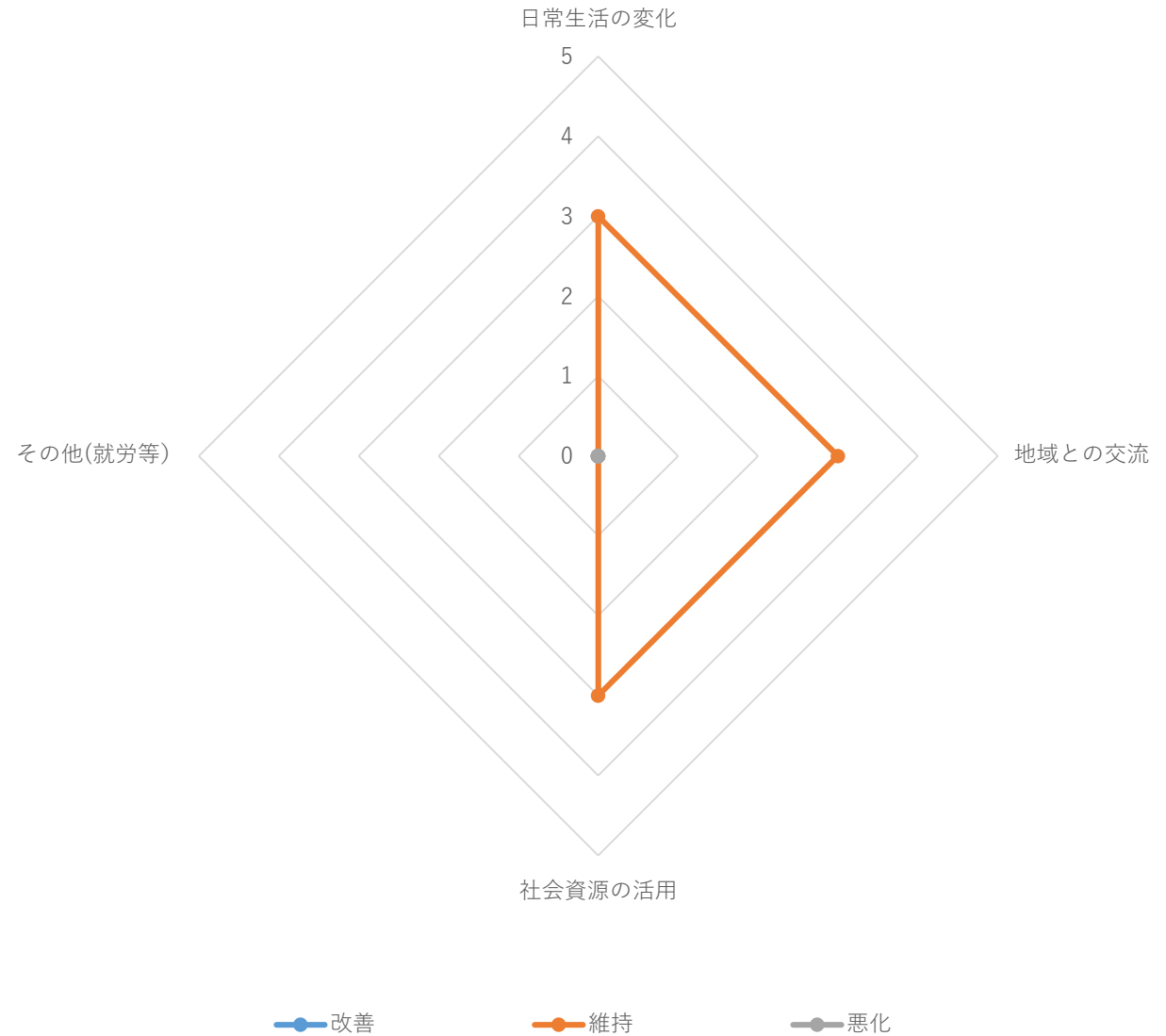
②本人の認知及び精神状態



活動評価指標 集計

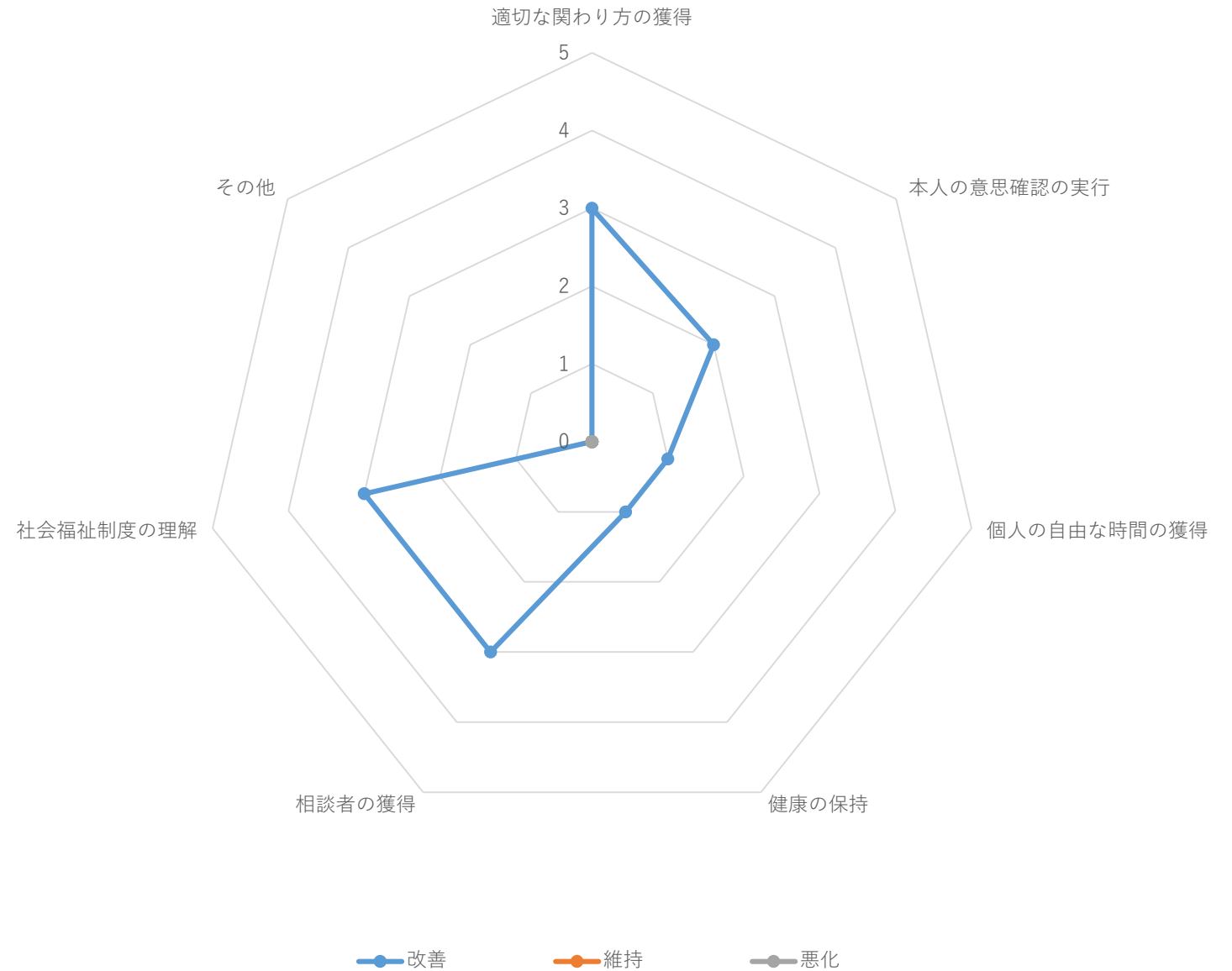
事例の評価		改善	維持	悪化
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	4	0	0
	介護保険サービスの継続利用	2	0	0
	危険回避行動につながった	4	0	0
	その他	3	0	0
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	2	2	1
	気分の安定(不安感の軽減等)	2	2	1
	日常活動(意欲低下により出来なかったこと ができるようになった、活動量の変化等)	2	3	0
	DBD-13	0	0	0
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	4	0	0
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化	0	3	0
	地域との交流	0	3	0
	社会資源の活用	0	3	0
	その他(就労等)	0	0	0
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	3	0	0
	本人の意思確認の実行	2	0	0
	個人の自由な時間の獲得	1	0	0
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)	1	0	0
	相談者の獲得	3	0	0
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスに よる理解等)	3	0	0
	その他	0	0	0

③地域での行動変化



事例の評価		改善	維持	悪化
① 本人の行動変容	医療との関わり (定期受診、服薬管理可等)	4	0	0
	介護保険サービスの継続利用	2	0	0
	危険回避行動につながった	4	0	0
	その他	3	0	0
② 本人の認知及び 精神状態 (内面的変化)	BPSD	2	2	1
	気分の安定(不安感の軽減等)	2	2	1
	日常活動(意欲低下により出来なかったことができるようになった、活動量の変化等)	2	3	0
	DBD-13	0	0	0
	その他(チームとの信頼関係ができた等)	4	0	0
③ 地域での行動変化 (社会とのつながり)	日常生活の変化	0	3	0
	地域との交流	0	3	0
	社会資源の活用	0	3	0
	その他(含む)	0	0	0
④ 介護家族の行動変容 (家族の負担感)	適切な関わり方の獲得	3	0	0
	本人の意思確認の実行	2	0	0
	個人の自由な時間の獲得	1	0	0
	健康の保持 (不安感等心理的な健康状態を含む)	1	0	0
	相談者の獲得	3	0	0
	社会福祉制度の理解 (介護保険制度等に関する情報のアドバイスによる理解等)	3	0	0
	その他	0	0	0
	その他	0	0	0

④介護家族の行動変容



認知症初期集中支援チームの活動について

【結果】

- ・ 医療との関わりや介護保険サービスの利用継続等、本人の行動変容がみられた。
- ・ 活動性が向上する等、本人の認知及び精神状態の改善がみられた。
- ・ 地域での行動変化は維持及び評価困難であった。
- ・ 介護家族の行動変容についても、関わり方や制度の理解が進む等、改善がみられた。
- ・ 終結ケース5人のうち、2人が入所等となった。

認知症初期集中支援チームの活動について

【課題】

- ・ 地域での行動変化について変化がみられないことから、どのように働きかけるかが課題である。
- ・ 対象者が独居の場合、介護家族への働きかけが難しいため、どのように介護家族とつながっていくかが課題である。
- ・ 認知症の症状が進んだ状態での相談であったため、入所となり在宅生活の継続が困難となったケースもあり、どのように早期発見に至るかが課題である。